

勇壮なだんじりの訪問に 感嘆の声あがる!



ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会

洲本市中川原町中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

ホームページ
<http://hyoufuku.main.jp/fukuro/>

4月8日(日)、中川原町内会の春まつりの「だんじり」が、ふくろうの郷に立ち寄ってくれました。入居者の皆さんは庭に集まり、「まだ来てないの?」と待ち遠しい様子でした。立派なだんじりと獅子舞を見ると、皆さん圧倒され釘付けになっていました。「無病息災」を祈り獅子舞に一人ひとり頭を噛んでもらうと、中には手を合わせて有り難がる方もいました。春の訪れを感じられる催しを楽しむことが出来て、みなさん満足そうにしておられました。中川原町内会長の奥野康治さんからは、「何でも言ってください。協力します」と言っていただき、地域の皆様のあたたかさを感じられる一日となりました。

手話でコミュニケーションを取りたい

近畿合同就職説明会～兵庫ブースに3か所で16人

4月15日大阪、21日兵庫、22日京都と近畿の聴覚障害者関係の3法人が協力しあつての合同就職説明会が開催され、大学生、専門学校生、特別支援学校、一般の方等計45人が参加し、それぞれの法人の事業についての説明の後、3法人のブースで仕事の内容等の説明を受けました。それぞれのブースでは和やかな雰囲気の中で、仕事の内容や手話でのコミュニケーションをとることの楽しさに触れ、就職先として検討したいとの感想をいただきました。



▲和やかな雰囲気での説明

3面に掲載させていただいております書道講座のボランティアの真鍋圓隆様が5月1日急逝されました。驚くとともに残念な思いです。真鍋様の熱意ある教え、思いを受け継ぎ、学ぶ喜びをこれからも深めていきたいと思ひます。ありがとうございました。合掌



▲地域の方手作りの昼食をいただく

窯焼きピザで交流

施設見学会に3名参加

4月28日(土)施設見学会を開催し、神戸の施設建設予定地を始め、中川原ふれあいセンター、ふくろうの郷を見学していただきました。ふれあいセンターでは、いつもご協力いただいている地域の方5名がピザ窯で焼いたピザや、イノシシ肉のフライなど心のこもった昼食を準備していただきました。見学者の中には「淡路に移り住んで仕事をしたい」と希望する方もおられました。

ふくろう物語

番匠英夫さん

苦勞した青春時代

番匠さんは、平成27年7月に入居されました。

番匠さんは、昭和7年2月26日。淡路ふくろうの郷の近く、洲本市安平町で生まれ育ちました。

父は当時役場の収入役をされており、裕福な家で5人兄妹の4番目として生まれました。

ところが、英夫さんが幼いころ、兄弟、両親が病で次々と亡くなってしまいます。番匠さんは、苦勞を重ねて妹さんを高校にまで通わせたそうです。

中学卒業から農業と造園業で働き続け、25歳の時に奥様と結婚されます。

スポーツが得意で、走るのが速く、野球観戦や歌うことも好きで、カラオケ大会にも参加されていたそうです。

奥様との約束を胸に入居

平成18年から大きな病が番匠さんを襲います。入院生活と自宅での奥様の10年近い献身的な介護を受けてこられたが、限界がきたため、ふくろうの郷に入居されました。

番匠さんは、自宅から離れ、家族と会えなくなる寂しさから、施設への入居は望んでいませんでした。しかし、奥様は「必ず会いに来る」との約束通り、毎日のように面会に来られ寄り添い、お世話を続けて下さっています。

奥様は英夫さんだけでなく、他のユニットの入居者とも

仲良くなり、積極的にお話をされています。手話はほとんどできませんが、身振り手振りでの入居者の皆さんも笑顔で交流されています。

これからも夫婦一緒に

番匠さんは、「親切にお世話してもらい、ここ(ふくろうの郷)で暮らせていることが、涙が出るほど感謝している」と奥様に話されるそうです。そんな番匠さんも時には自宅へ帰りたいとの思いを口にされることがあります。

結婚から60周年を超えたお二人と一緒にたびたび帰宅できるよう取り組みたいと思います。



▲奥様と一緒に歌の会に参加される番匠さん



平成26年11月帰宅した家の前で
(生活援助員 神代 雅司)

ふくろう学びあい文庫 ～勝楽進・佐代子の人生から学ぶ～ 奪われたものとその回復を助けたもの

勝楽進・佐代子さんは淡路ふくろうの郷での新たな暮らしを契機として、深い悲しみと怒りを込めて人生を語られました。そこには「断種」の追いやられ、父や母になれなかった悔しさに耐えつつ老いの坂道をたどってきた日々が語られています。

このたび絶版していた勝楽さんの手記をふくろう学びあい文庫として再編集し、5月に発刊する予定です。



お問い合わせは
淡路ふくろうの郷へ



春を満喫

南あわじ市諭鶴羽ダムの花見





4月17日、ふくろう大学
開校式が行われました。

ふくろうの郷の生活支援の柱の一つ「学ぶ」。戦争などの事情で学校に行けなかった、卒業できなかった入居者がたくさんいます。ふくろう大学を学びの場として行っています。入居者さんの学びたい思いを大切にしたい取り組みをしていきます。

辻施設長から「いろんな事情で卒業証書をもたえなかった悔しい思いを持っている方も多いと思います。学びたいという思いは生涯もつもの。頑張りましょう。」との挨拶がありました。

今年度もボランティアのご協力を頂きながら、入居者と共に学んでいきます。

(介護主任 加野明宏)

絵手紙講座

(毎月
第3火曜日)



鬼塚弥生さん

絵手紙講座のボランティアをしています。入居者と一緒に絵手紙を書くのが私にとって楽しい時間となっています。これからも一緒に頑張りたと思います。

書道講座

(毎月
第2火曜日)



真鍋圓隆さん

昨年の夏から書道講座を担当しています。最初は出来るかどうか不安でしたが、職員の温かい励ましと入所者の皆さんの明るい笑顔で何とか努めることができました。これからも一緒に学んで行きたいと思っています。

料理講座

(毎月
第4金曜日)

入居者と担当の職員と一緒に野菜を切ることから始め、お料理を作ります。ピザや肉まんなど生地から作る料理もあり、自分たちで作る、いつもと違った食事を楽しんでいきます。「おいしい料理



を作って、食べて、楽しい講座にしましょう」と吉見さんが挨拶してくれました。

楽しい地域交流会を

平成30年度地域交流会総会

平成30年4月29日(日)「平成30年度淡路ふくろうの郷地域交流会総会」が11名の会員の参加で開催されました。平成29年度の事業報告、役員の変更、平成30年度の事業、地域交流会のあり方等について意見を交わしました。その結果、会長等役員の選出は来年度に

期すことになりました。又、会員の高齢化や死亡による退会もあり、町内会と相談しながら、今後新たな会員の勧誘を行い、入居者に楽しんでもらえる行事、また会員どうしが楽しく交流を深められる会を目指していこうということで閉会となりました。地域の皆様のご協力を頂きながら、活動を続けていきます。

(介護主任 加野 明宏)

平成30年度自治会役員紹介

(会長) 吉見 輝子
(副会長) 旅田 澄江
(会計) 北風 章子
(花代表) 長谷川 清美
(木代表) 北川 他久美
(川代表) 岸本 久美
(月代表) 黒崎 時安
(星代表) 勝楽 佐代子
(海代表) 松崎 惠子
竹邊 正晴
1年間よろしくお願
いします!

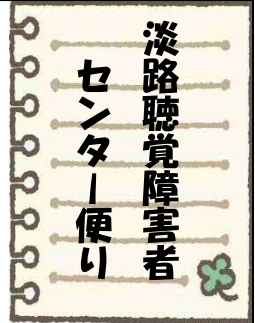
自治会総会が行われ、新しい役員が決まりました。新自治会会長の吉見輝子さんから「今までは職員にしてもらっていたことも多かった。今後は自分たちでできることはやっていきたい。皆さん頑張りましょう」と力強い挨拶がありました。

吉見輝子新会長決まる

自治会総会(4月17日)



▲新自治会役員の方皆さん (右から) 松崎さん、谷口さん、旅田さん、吉見さん、北風さん、勝楽さん、竹邊さん (右上) 長谷川さん



洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3階

センターでは毎月1回「こころのケア相談」を開いています。同障者のカウんセラ―稲淳子氏に平成28年度から再び担当していただいています。稲氏は、精神保健福祉士・社会福祉士として「日本聴覚障害ソーシャルワ―カー協会」の会長をされ、大阪をはじめ、全国各地で、広く活躍されています。

そんな稲氏のもとに毎回相談日には4から5人の方が相談に來られ、聞こえないことからの家族間のしんどさや仕事の悩み、大変な状況に中でも頑張っていることを聞いてほしい、など様々な話が持ち込ま

みなさんの心に向き合って 《こころのケア相談》



れます。

思いによりそって

稲氏は「きこえないために情報が入らず、様々な自己決定の選択も狭められ、自分にとって大事な判断ができない…。その苦しさ、つらさを抱えて生きていることを考えながら、私はひとりひとりと大切に向き合いたいと思っています。來られる人たちの心の思いは様々です。周囲がひとりひとり、生き方や考え方が違うことを受け止め、自分も頑張れるところは頑張つていく。無理はしないということですよ。」



▲「ひとり一人の気持ちに寄り添って」と稲氏

これから共に

「みなさんは、温かい励ましや承認を求めています。その気持ちを認め、みなさんの心と向き合いながら、一緒に考え、悩み、行動していきたいと思っています。みなさん気軽に話しに來てください」と稲氏。

「こころのケア相談」は原則月1回第2土曜日に開催していますが、都合により日程変更することもあります。また事前に予約が必要です。ご希望の方はセンターまでお申込み下さい。

新しく入荷！ご利用ください

聴覚障害児への理解や支援に関するもの、『新しい手話』『手話検定試験』など8冊と、『手話この魅力あることば』を含めたDVD11枚が仲間入りしました。貸し出しもしています。ぜひご利用下さい。



読んでみよう！
見てみよう！

お詫びと訂正
ふくろう新聞3月号にて記載に間違いがありました。訂正してお詫び致します。
4面 あわじ耳の日の集い
南あわじ市 藤森福祉部長→藤岡福祉部長

先日、「あん」という映画を観ました。とあるどら焼き屋にアルバイトをしたいと來られたおばあさん(樹木希林)が元ハンセン病患者で、若いころ妊娠したが許されず強制的に墮胎させられたことも語られ、今問題となっている聴覚障害者の「優生保護法」の問題と重なる部分を想い

映画「あん」強制墮胎に深くかんがえさせられる

ながら観ました。国は昭和28年に「らい予防法」を成立させ、強制隔離し全ての患者を入所させたことにより、治る病気が人々に怖い病気として定着してしまつたのです。療養所という狭い社会。「私たちが光ある社会で生きたい」と当事者は語ります。旧優生保護法が淡路のろう者に及ぼした実態の解明に努めていきたいと強く思いました。

(センター長 楠本 恵利子)

神戸施設建設をめざして

2018.4.27 現在 募金合計額

43,329,232 円

目標 1 億円まで、あと

56,670,768 円

□記念プレート

申込み続々

3月の「耳の記念大会」以降、



完成した冊子「私たちの願い」

先般、「神戸における聴覚障害者福祉施策拡充のための検討会」の提言がありました。これに続き、聴覚障害者の事例集「私たちの願い」聴覚障害者が安心して利用できる施設建設の実現を目指して」が完成しました。聴覚障害者の置かれた具体的な状況が書か

れており、「提言」と合わせて読み進めると、そこから見える課題やその課題を解決する手だてが分かる。そして何よりも、これらの冊子はこの運動を支える皆さんにとつて、一層、理解を深めるきっかけになるものだと思います。みんなが現状を正しく理解すれば、目標半ばの募金活動の「しんどさ」を乗り越える機動力になるのではないのでしょうか。皆さんがきっちり「自分の言葉で語れる」ようになること、それがこの運動を「楽しむ」基(もと)になるのだと思います。

□工事現場

ボーリング調査へ

さて、新長田の施設建設の予定地では、4月24・25日に地質調査がされました。ボーリングし、地下の状態を調べるのですが、27メートル掘り進めたものの、未だしっかりとした岩盤に届かず、改めて、調査します。阪神淡路大震災で、大きな被害のあった地域です。中途半端な調査で、心配の種を残したままのスタートはできません。末長い安心のためです。(眞木崇江)

神戸事業所 安心して暮らせる 福祉施設を!!

共同作業所 神戸ろうあハウス

神戸ろうあハウス デーサービセンター

〒652-0897 兵庫県神戸市兵庫区駒通5-1-4 西高架下16号

TEL & FAX ... 〇七八・五七九〇七五五

□聴覚障害者の課題を運動に

課題を運動に

プレイト募金の呼びかけを重点的に行ったところ、プレイトの申し込みが、一ヶ月半で30件余りありました。ていねいに説明し、新しい施設の必要性を分かっていたら、効果は表れてきます。ますます施設建設への機運も高まっています。

5月・6月 ふくろうの暮らし

- 5/13 (日) 地域交流会地域を歩く (松亀寺)
- 5/18 (金) ふくろう工房・手芸
- 5/19 (土) 中川原小学校運動会
地域交流会手話講座
- 5/23 (水) ふくろう喫茶
- 5/25 (金) ふくろう大学料理講座
- 5/26 (土) ふくろうの郷家族の会
- 6/2 (土) ふくろう手話講座
- 6/3 (日) 楠公連来所・交流
- 6/4 (月) ふくろう理髪店
おのころ屋パン販売
- 6/8 (金) ふくろう工房ちぎり絵
- 6/12 (火) ふくろう大学書道講座
- 6/19 (火) ふくろう大学絵手紙
おのころ屋パン販売



ふくろうの郷見学予定

- 5/28(月) 加古川市両荘民生児童委員協議会様 40名
- 5/29(火) 甲寿園様他 5名
- 6/11(月) 城崎民生委員児童委員協議会様 10名
- 6/12(火) 東浦民生員児童委員協議会様 30名

ふくろうの郷実習生の受入

- 6/15~6/18 関西医療看護大学生 4名
- 6/22~6/25 関西医療看護大学生 4名

ふくろうの郷実習受け入れ

社会福祉士・介護福祉士・高校生のインターシップなどにご活用ください。

遠方からの実習生には施設内で宿泊可能です。